



2016年は丙申 二黒土星の年



監修：現代風水研究会 安藤 成龍 会長
URL www.gendaifusui.com

今年の十干十二支は丙申(ひのえ さる)。丙は火が盛んに燃える様子を意味します。イメージでいうと太陽。昨年は乙(きのと)で若木が地上に出て曲がった形と説明しましたが、丙は成長して、形が整った状態といえます。一方、申は果実が固まっていく形を表しています。例えば「干し柿」の形です。2016年を一言でいうならば、大きく膨らむ一方、内実が空虚。景気は前半拡大し、後半は収縮とみました。年のキーワードとしては、「転ばぬ先の杖」



補佐役が鍵となる

昨年に仕掛けたことが、今年は結果をもたらします。仕掛けてなければ出遅れているので、2月に計画を実行に移してください。遅くても8月には結果が出ることでしょう。それができないようだと現状維持が無難。何より決断力が問われる年です。

九星は二黒土星(じこくどせい)の年にあたります。その意味としては、大地、農地、母、従順、消極的となります。だいたいを受け身の体制というか、内部の充実をはかるときといえましょう。事業でいえば住宅産業、農業、土壌改良、衣料、家事代行、カウンセリングなどが着目すべきところでしょうか。人物では頼りになる副社長、相談役、補佐役などの出番です。特に経営者の場合、いざという時に頼りになる人を得ると安心です。

今年のラッキーカラーは赤とピンクです。男性なら赤のネクタイ、小物など。女性ならピンク系の洋服などはお勧めです。また、丙の形は供物を乗せる台です。このことからパーティー、積極的な交流というのも吉。その方面でお金を使うなら、生きてくることでしょう。

丙から注意すべきは火の用心。なお開運のための旅行をするならば東か西がお勧めです。申は十二支で猿に当てはめられています。猿といえば、昔読んだ西遊記で孫悟空がひょうたんの中に魔物を封じ込めたという光景が思い浮かびます。ひょうたんは魔よけと開運のアイテムなのです。



内部の充実に取り組む

昨年はマンションが傾いた原因が不十分な杭打ちであったり、中国では土砂崩れで多数の犠牲者が出たりするなど、土に関係する問題が発生しました。また大手企業でも不正問題が露見して、屋台骨を揺るがすことになったのは記憶に新たです。さて今年を易で占うと…

【山地剥(さんちはく)】

崩落、崩れ落ちることを意味します。このような危険な兆候が前年より発生しています。

実態が伴わず形だけ拡大したものの、土台部分が弱いので重量に耐えきれず崩壊するというものです。他からむりやりに責任を押し付けられる。思い違いや、手違いによって大損害を被る。株価の大幅下落に注意が必要です。とにかく変化の兆候に注意しておくことです。そして危ないと感じたら逃げるが勝ち。

【風地観(ふうちかん)】

山地剥が変化すると風地観になります。それは地上に風が吹いている光景。このようなときは状況を良く観察することです。準備のための視察旅行、家族を喜ばず観光旅行、神社仏閣詣でも後々良い結果をもたらします。仕事面においては現状維持が無難です。

日頃の行動を反省して改めたり、先祖供養することが大難が小難に、小難が無難になる秘訣です。今年は大きな変化が起こりそうなので、いつもの年とは別と心がけて行動してください。

これまで仕事ばかりに意識を置いていた人は、家庭に、さらには先祖にも意識を振り向けることです。そして、感謝の気持ちを言葉や手紙に表しましょう。

本卦 山地剥



之卦 風地観

